

AI技術で配筋検査を省力化

AI配筋検査端末「Field Bar®FB-200」

建設業界における配筋検査のさらなる生産性向上に貢献



表面



NETIS登録製品

No.KT-230164-A



裏面

特徴

- 独自のAI配筋計測技術により高精度な配筋検査を実現
- ステレオカメラで撮影した写真から配筋検査を自動で実施するとともに、検査帳票(設計データ)作成から検査結果帳票の生成まで一連の作業を効率化
- 従来比約2倍の広範囲検査やトンネル内部など湾曲面の検査が可能
- 従来の一体型構造からカメラ部を分離させた検査も可能とすることで操作性を向上させ、建設現場の更なる生産性向上に貢献
- 防水仕様と、野外でも見やすいディスプレイの採用により、過酷な屋外環境での利用を考慮したデジタル配筋検査を実現

※「Field Bar」は、三菱電機エンジニアリング株式会社の登録商標です。

New

クラウドシステム

NISHIO
オリジナル

設計情報・実測結果のリアルタイム共有が可能！

事務所と現場を行き来する時間を削減！



事務所



クラウド
実測結果から
自動で帳票作成

① クラウド上で
設計情報を作成

④ 実測結果・帳票を
ダウンロード



現場

② 設計情報を
ダウンロード

③ 実測結果を
アップロード

※クラウドシステムは、NISHIOオリジナルです。

※クラウドシステムを活用する場合は、Wi-Fi環境が必要となります。



総合レンタル業のパイオニア

西尾レントオール株式会社

<https://www.nishio-rent.co.jp/ts/>

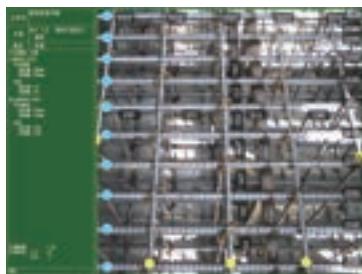
・このチラシは2025年5月現在のものです
・予告なくチラシ内容に変更が出る場合がございます

202505-7601-307

お問い合わせ

従来比約2倍の広範囲検査が可能

広角カメラの採用により、従来機種比で約2倍の広範囲検査を可能とし、約300mmごとに組まれた鉄筋10間隔分の検査を1回の撮影で実現



従来機種の検査範囲



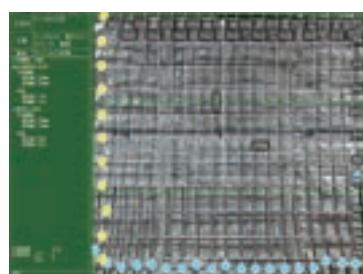
FB-200の検査範囲

湾曲計測モードの搭載により、トンネル内部など湾曲面の配筋検査が可能

湾曲に沿って配筋を計測する湾曲計測モードの搭載により、トンネル内部のような湾曲面(半径6m以上)の配筋検査を可能

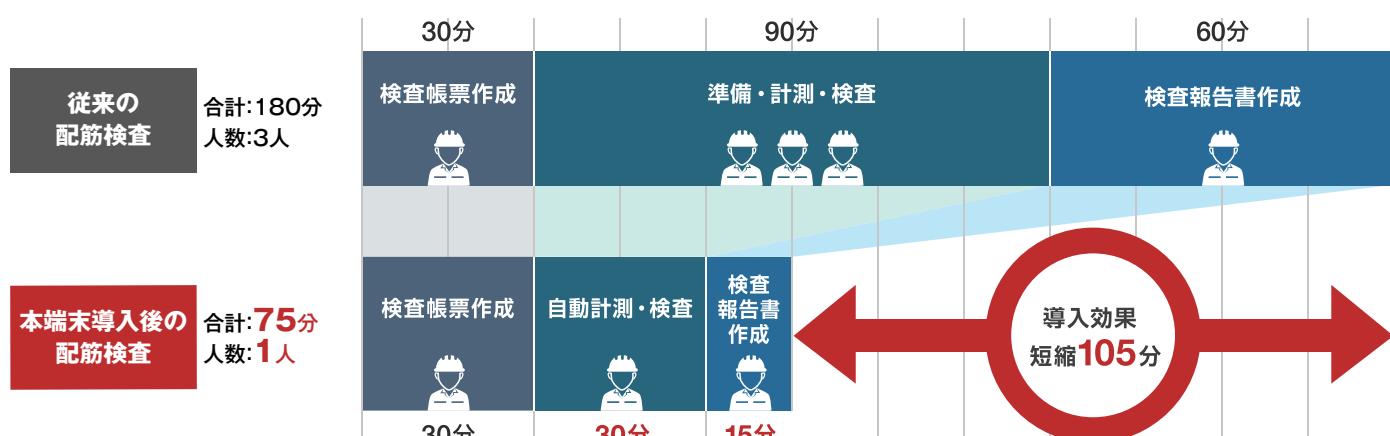


湾曲面トンネル



配筋検査結果

配筋検査帳票生成ツールで検査時間を約60%短縮(検査報告書作成を含む)



仕様

鉄筋検出	検出率約100%※1
対象鉄筋	D10～D51※2(判定率94%、ただし撮影条件による)
平均鉄筋間隔	0.3φ以下(φは鉄筋径)、床版工は±5mm以下
周囲温度	-10°C～40°C
外形寸法	カメラ部:幅200mm×奥行53mm×高さ35mm タブレット部:幅301mm×奥行24mm×高さ203mm (タブレット取付時:幅301mm×奥行67mm×高さ240mm)
重量	カメラ部:約0.4kg タブレット部:約1.5kg(タブレット取付時:約1.9kg)

※1:撮影画像から鉄筋を検出する確率(過検出あり)また、撮影条件、対象配筋によります。

※2:撮影画像から鉄筋の太さを判定。
D10(太さ約10mm)からD51(同51mm)まで3mm単位で設定されている種類を判別可能。



総合レンタル業のパイオニア
西尾レントオール株式会社
<https://www.nishio-rent.co.jp/ts/>